

Vol. 97

編集 環境パートナーシップちば  
代表 桑波田 和子  
事務局 千葉市中央区中央港1-11-1  
(一財)千葉県環境財団業務部  
環境活動支援課  
電話 043-246-2180  
FAX 043-246-6969



# だより

— つながれ ひろがれ —

## 平成26年度もつながれ！ひろがれ！

環境パートナーシップちば 代表 桑波田和子

本日は平成26年度総会にご出席いただきありがとうございます。また、御来賓として、千葉県環境政策課温暖化対策推進班長の小高宏志様、細野義博様、千葉県環境財団の山口幸一様にご多忙の中ご臨席いただきありがとうございます。

おかげさまで、環境パートナーシップちばも25年度の事業を無事終え、26年度の歩みをスタートすることになります。本日の総会では、皆さまのご意見を頂き今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

平成25年度の主な事業の1つに、千葉県環境学習指導者養成講座を受託し、講座を担わせていただきました。その際、養成講座生の体験の場として、当会の団体会員の方が受け入れしてくださいました。今日ご参加いただいているスト温様やせっけんの街様にもご協力いただきました。改めて、感謝申し上げます。受講生のフォローを26年度も進めていきますので、よろしくお願ひいたします。

次はエコメッセちばの開催です。当会は実行委員長と事務局を担っております。協働連携をより広くより強く推進するための「協働創造市」を展開しています。大学と市民団体との協働開催等、着実に活動が展開され始めています。今年は9月23日に開催するエコメッセ2014inちばで大交流会（協働創造市）として開催しますので、是非ご出展・ご参加をお願いします。

その他、印旛沼に関する活動も実行していきます。

当会のモットーである、市民・企業・行政とのパートナーシップを推進する当会の役割も十分活かしていきたいと思ひます。26年度も、会員皆さまのご支援とご協力を是非よろしくお願ひいたします。



## 「環境パートナーシップちば」定期総会挨拶

千葉県環境生活部環境政策課温暖化対策推進班  
班長 小高 宏志

ただいま御紹介をいただきました、千葉県環境政策課温暖化対策推進班の小高と申します。本日は総会にお招きいただきありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」の皆様におかれましては、日頃、地域の環境保全や地球温暖化防止、資源循環型社会づくり等の幅広い活動を実践され、毎年開催されているエコメッセでは、桑波田代表をはじめ、会員の皆様にも多大な御尽力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。

また、県の環境学習アドバイザーとしての活動や環境学習指導者養成関連講座の実施など、本県の環境行政の推進に様々な御協力をいただいておりますことにつきまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

環境問題が多様化していく中、その解決に向け

た取組を進めるためには、それぞれ主体のみでは限界があり、様々な主体が協力して環境保全活動や環境学習に取り組むことで、より効果を高めることができるかとされているところです。

今年は、特に「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関するユネスコ世界会議が日本で開催されることもあり、環境学習や協働取組が改めて注目される年になるのではないかとと思ひます。

このような中で、「環境パートナーシップちば」の様々な主体とのゆるやかな連帯、パートナーシップによる活動といった基本理念の重要性がますます増してくるものと考えております。



県としても、引き続き、皆様方をはじめ様々な主体との連携・協働に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、「環境パートナーシップちば」の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 平成26年度総会挨拶

一般財団法人千葉県環境財団業務部 山口 幸一

ただいま、ご紹介に預かりました、千葉県環境財団の山口です。今日は、総会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

環境パートナーシップちば様は、平成9年の発足以来、事務局を当財団におき、財団とは二人三脚のような関係でございます。

毎年、挨拶の際に申し上げていることですが、環パちば様は、ゆるくて、それでいて強いつながりで結びついた全国的にみても大変珍しい団体でございます。

緩やかで強い連携を保つためには、お互いを認め合い対等な立場でなければ成り立たないと考えます。現在多種多様な環境問題に対応するためには、この柔軟なつながりによる活動が不可欠だと思います。このような運営を行っている桑波田代表始め会員の皆さまに敬服する次第です。

さて、平成21年度に印旛沼・手賀沼がそろっ

てワースト5位となり、平成23年度及び24年度とも、印旛沼、手賀沼がワースト1位、2位と不名誉な結果となってしまいました。環パちば様におかれましては「印旛沼をきれいにする活動」等、印旛沼浄化のためにご活躍されており、今後ますます、皆様方の活動が重要となってきていると思います。

当財団では、今年度も環境活動支援事業や温暖化防止活動など多くの事業を展開しておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、環境パートナーシップちばの皆さまのご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念して、簡単ですが挨拶とさせていただきます。



## 平成26年度環境パートナーシップちば総会報告

平成26年度の総会は、4月20日(日)午後1時30分～2時30分、きぼーる(千葉市中央区)多目的室で開催しました。

ご来賓に、小高宏志氏、細野義博氏(千葉県環境政策課)、山口幸一氏(一財 千葉県環境財団)のご列席をいただき、参加者は総勢25名でした。議長は内野英哲氏(ストップ地球温暖化防止千葉推進会議)が進行してくださり、議案はすべて承認されましたのでご報告いたします。1時間の短い時間でしたが、HPの活用等の質問もいただき、26年度も環境学習、印旛沼、多様な主体との協働の推進等、会員の皆さまと活動を展開していきますので、よろしくお願いいたします。なお、総会資料は「だより97号」に同封しますので、ご覧ください。

運営員では、会計監査を長年担当してこられた、小関光二氏が退任され、萩原耕作氏になりました。また、運営員環境学習スタッフとして、松橋功氏、

川島謙治氏の2名が加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

総会終了後は、2:45～4:30まで、エコサロン&交流会を開催しました。テーマ「環境学習大集合! II」について24名の参加者で、活発に意見交換が展開されました。(事務局)



## 第61回エコサロン「環境学習大集合II」報告

平成26年4月20日(日)当団体総会後に開催。話題提供者には、これまでの環境学習指導者養成

講座を卒業された、西河内ひとみさん、並木秀幸さん、松橋功さんをお願いしました。西河内さんか

らは、お仕事の場の「新宿リサイクル活動センター」の紹介から『リサイクルの取り組みについて』をお話いただきました。並木さんからも仕事場の「東金青年の家」に始まる『「青年の家」でつながる「地域」と「学校」』というテーマでお話いただきました。松橋さんからは、セミナー講師というお仕事から『最新のセミナーから考える』というお話をいただきました。3人の方々には現場での活動から10分の話題提供の後、それぞれに参加者からの質問に答える形でお話を深めた後、参加者には、ほめたい・提案したい「いいね！カード」

を書いていただき、前に置いたホワイトボードに貼っていただきました。その後、時間は短かったのですが、分かちあいをさせていただき、「いいね！カード」は、話題提供者の方々へのお土産として持ち帰っていただきました。それぞれの「つなぐれ・ひろがれ」のお役に立ちましたでしょうか。

参加者から3分間スピーチでは、エコメッセちば実行委員会から2014年の誰でも参加できる「交流会」へのお誘いがありました。

(横山)

## リサイクルの取り組みについて

新宿リサイクル活動センター 西河内ひとみ

2014年度総会後のエコサロンで、新宿区立新宿リサイクル活動センターについて報告させていただきました。

新宿リサイクル活動センターは、昨年11月に新しく建て替えオープンしたりサイクル普及のための施設です。市民の方々に楽しく興味を持っていただくための様々な取組を展開しています。各種講座や出前授業、おもちゃの修理や洋服の丈な

おし、もいちど倶楽部（いらなくなった身の回りの品々の委託販売）、譲ります・譲ってくださいコーナー（いらなくなった家具電化製品などの情報掲示板）、フリーマーケット、洋服ポスト（寄付）等々、世の期待に応えることができますよう新しく工夫をしながら頑張っているところです。

報告をしてみて、暖かい視線で励ましてくださったことがうれしい一日でした。

## 「青年の家」でつながる「地域」と「学校」

千葉県立東金青年の家 並木秀幸

私の職場、千葉県立東金青年の家には、県内各地の小学校が宿泊学習でやってきます。子ども達は1~2泊の日程の中で様々なプログラムを体験し、学校へと帰っていきます。

一方、県内各地には、例えば、流域の保全や農林業の振興、不法投棄や開発問題など、地域の多様な課題に向き合う市民団体が存在します。これら市民団体の取組みは、子ども達の環境学習の題材として最適であると考えます。

私が提案したいのは、県内の多様な市民団体とともに、地域課題の環境学習プログラム化を図りたいということです。まずは宿泊学習での利用を想定し、青年の家の敷地内で完結できるような2時間程度の「お試し版」プログラムによって地域の課題を知ってもらいます。「青年の家」で、学校と市民団体がつながり、そして、地域課題を題材にした環境学習の輪が、千葉県全域に広がる。そんな構想を実現させたいと考えています。

## 最新のセミナーから考える

楽幸 COM 代表 松橋功

セミナー・研修を企画プロデュースしている松橋です。私は事業としてセミナーを行っていると同時に、日本だけでなく各地でセミナーを受講している立場から、セミナー・ワークショップの運営準備についての話題を提供させていただきました。

あなたの講座・ワークショップ・イベントを「よい話だった」で終わらせないために、参加者の気持ち・感情に沿った運営・構成を考えていますか？ある団体ではダンスしてから講座が始まります。

体を動かしてからの方が意見は出やすいからとその団体主催者はおっしゃっていました。参加者の感情をどのように次のステップにつなげるかを感情の設計といいますが、構成シナリオを綿密に作るのが世界のトレンドになっています。

参加者を集めるマーケティング、参加者の求める価値を視点、方法、支援、実行とどのように提供するか、といった点も最新のトレンドに絡めてお話ししました。

## エコメッセ2014inちば 出展者募集しています!

開催日：9月23日(祝) 10:00~16:00

会場：幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール

テーマ：ひろがれ つながれ エコメッセ

～イマを知ろう ミライをつくろう 子ども博覧会～

水面が広がっていた田んぼは田植えが終わり、稲がすくすく育ち、水面が少なくなってきました。秋の収穫に向かい生物も人間も活発に活動が展開していきます。

今年のエコメッセちばは、上記の予定で出展団体を募集しています。

エコメッセちばには多くの市民の方が参加されます。子どもから大人まで、市民団体、企業、学校、行政などの出展ブースで体験できることが魅力です。この出会いをその日限りではなく、お互いに活かせる場や活動を広げるために、エコメッセ実行委員会では年間を通して情報発信等を実行しています。

概要は以下の「エコメッセ2014inちば」概要をご覧ください。又詳細は以下のHPをご覧ください

さい。

- ・募集区画：200区画（募集区画数に達し次第、  
×切とさせていただきます）
- ・広さ：1区画（2m×2m）単位でお申込みを受  
けます。（複数区画の申込み可）
- ・出展料：企業・行政—1区画につき20,000円  
市民活動団体・大学 8,000円  
高校・学生団体—1区画まで無料  
2区画目から8,000円
- ・応募方法と期間：出展要領をご承知の上、申  
込みフォーム <http://www.ecomesse.com>  
から7月31日までにお申込ください。

（エコメッセ事務局）

## 「エコメッセ2014inちば」概要

交流部会部長 谷合 哲行

エコメッセちばは、今年2014年で19年目を迎えます。これまでの環境活動見本市と環境協働創造市を統合して「エコメッセ2014inちば」となりました。持続可能な社会の実現を目指して、市民・大学・企業・行政による連携・協働の取り組みを促進するため、各団体の活動を広報、PRできる場をメーリングリストやホームページで年間を通して提供します。

また、昨年度は環境協働創造市として活動していた交流会をテーマ別の部会に再編し、テーマごとに、関係する団体の交流の場となるテーマミーティング(仮)を定期的を開催します。9月までのテーマミーティングでは、これまでに活動実績があり、9月の合同交流会で中核コーナーとなりうるテーマでのテーマミーティングを予定します。

9月23日には、昨年まで環境活動見本市として幕張メッセを会場として行われていた従来のエコメッセに加えて、よりテーマ性を強調したテーマミーティング合同交流会の開催を検討しています。更に今年の「エコメッセ2014inちば」のテーマとして「イマを知ろう ミライをつくろう こども博覧会」を掲げ、関連企画としてものづくりワークショップゾーン(仮)やブルーグリーンツーリズムゾーン(仮)、エコレールゾーン(仮)などを

設置し、関係する企業や団体を集めることで参加者にとっても分かりやすく、出展者にとっても情報交換や交流ができる機会を提供したいと考えています。

昨年、好評だった教育機関で環境活動に取り組んでいる団体を集めたスクール環境メッセゾーンや環境と省エネ・創エネを目指すエネルギーゾーン(ネガワットゾーン(仮))などの企画も継続します。更に昨年度の交流会から発展した農業と福祉、エネルギーの融合をテーマとした【福祉・農業・再エネ】ゾーン(仮)などの新規企画も盛りだくさんで計画・準備を行っています。9月以降のテーマミーティングでは、エコメッセ2014inちばに参加していただいた団体のテーマを考慮し、次年度以降のテーマミーティングでコーナーを開催できるような新しいテーマの発掘をしたいと考えています。

また、昨年度から実施しているスクール環境メッセの後続イベントとして、各大学の大学祭が一段落する12月を目標に大学間交流企画

“スクール環境サミット”を企画しています。

今年もエコメッセ2014inちばへの参加協力をよろしくお願い致します。

## 「外来植物の防除を地域力で！！ 2014」に参加して ーターゲットは「ナガエツルノゲイトウ」ー

5月24日に、水土里ネット印旛沼のよびかけで佐倉市臼井田干拓地先の農業用排水路（通称、低地排水路）において、ナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエと記します）の防除作業が行われました。

今年で3回目になるこの作業は、水土里ネット印旛沼の呼びかけに対して、農業関係（土地改良区、農業者、NPO 美しい田園21、農水省関東農政局、等）、水資源機構、県、企業CSR、市民団体などから130名以上が集まり、環パちばからは、昨年に引き続き桑波田代表と小倉の2名が参加しました。

今年は昨年より約1ヶ月早めて行われたのですが、ナガエはすでに水路の両岸から大きく張出して繁茂し、開水面がほとんど見えないほどでした。沼の中や流入河川のナガエは、昨年10月の台風26号による出水でそのほとんどが流されてしまったのですが、春になると何事もなかったかのようにあちこちから芽を出し、あっという間に「島」ができてしまったのです。

主催者や関東農政局のご挨拶のあと、まず準備運動で身体をストレッチして、いよいよ「戦闘開始」です。

駆除作業は、ボートを使ってナガエの群落を岸に引き寄せ、重機または人力で土手の上に揚げる、という手順で行われました。

今年の駆除区域は、男性が胴長靴で胸まで水に浸かってしまうような泥深い場所だったので、へたに手を出して、水の中で転んだりしてはかえって迷惑になるので、私たちは参加したといっても土手の上から応援するだけで、何の貢献もできませんでした。

3時間弱という短い時間で、限られた区域だけの作業でしたが、駆除したナガエの大きな山がいくつもできました。これらはブルーシートできっ



ちり蔽い、1、2ヶ月そのまま放置したのち、印旛土木事務所が搬出してくれるそうです。

ナガエとの「戦い」が終わった低地排水路は【After】の写真のとおり、まるで別の場所のようになりました。でもよく見ると、あちこちに茎の切れ端が浮いており、このさっぱりした光景がどのくらい維持されるのか・・・、とちょっとむなしい気持ちでした。（昨年の例では、1ヶ月後にはしっかり若芽が伸びていました。）

ちなみに、土手の上には陸上植物に化けたナガエがびっちり生えていました。こちらのほうは水面から上に伸びる必要がないため、できるだけお日様の光をゲットしようと、背丈の低い草が地面を蔽っていました。テキはしっかりと状況判断をして、与えられた環境の中で最適なスタイルで繁殖し続けているのです。

この「賽の河原」のような作業はなんとかならないだろうか。ナガエを邪魔ものとして駆除するのではなく、なんとか活用できないものか。空芯菜のように炒めて食べたら、おいしいかも・・・などと考えながら帰途についたのです。

（小倉）

【Before】



【After】



## 第11回里山シンポジウム in 君津

# 『里山・裏山・命山 その恵みと創造』 ～みる、聞く、味わう、嗅ぐ、そして、作る、遊ぶ、学ぶ～

日時：5月18日(日)10時～17時  
会場：君津生涯学習交流センター(君津中央公民館)



### 里山シンポジウム実行委員会 桑波田和子

さわやかな風かおる5月、君津市で第11回里山シンポジウム全体会を開催しました。

5月18日は、千葉県が里山条例で「里山の日」と定めている日でした。君津市域は国道16号を走ると距離は短いですが、鹿野山、豊英(とよふさ)湖、亀山湖、久留里など奥が深く、北総とは違う山の景観が続きます。

実行委員会では、開催に向けて君津の方々と準備会議を重ねてきました。君津では、里山団体をつなぎ今後の活動につなげたいとの思いもあり、「里山シンポジウム in 君津実行委員会」を地域で作って準備を重ねてこられました。

シンポジウム開催の午前10時には用意したプログラム(300部)が無くなりました。参加者は午前・午後と合わせて、約500名近く、君津副市長、市議、県議もご参加いただき盛況でした。

プログラムは、午前中に君津市内の里山団体活動事例報告、野生動物と里山、台湾の里山活動紹介の3分科会が開催されました。事例報告分科会では、君津の里山関係30団体の中から8団体の

報告がありました。豊英島(県有林)をフィールドにしている、「ちば千年の森をつくる会」、長谷川自治会の取り組み「ホテルによる地域おこし」、上総掘りの活動を展開している「NPOかずさ」など、多岐にわたり力強い活動に圧倒されました。

午後のスタートは、ご来賓のご挨拶の後、ケビン・ショート氏の基調講演「里山のにぎわいを作り出す力」でした。パネルディスカッションでは、中央博物館の山のフィールドミュージアム、大鷲の森里山ファーム協議会、亀山オータムフェスティバル実行委員会の3名のパネリストの活動報告と、未来に託す思いについてでした。若者が過疎化する現実を直視し、外から人を呼ぶことに戸惑いながらも、地域を活性化しようと活動を展開している様子には共感しました。

最後に「ちば里山宣言 in 君津」が君津実行委員会から提案されました。地域色豊かな里山シンポジウムでした。君津実行委員会の今後の活躍が期待されます。

## 行ってきました！ ICHIHARA ART×MIX

山田 耕三(東京都在住)

「中房総国際芸術祭いちはらアート×ミック」へのお誘いを受けたときは、良く分からず迷いましたが、面白そうなので参加申し込みしました。

4月27日、鯉のぼりが気持ちよく泳ぐ晴天の中、市原市役所の湯本さんの案内のもと、総勢9名で小湊鉄道五井駅を出発しました。車窓沿いには新緑が映え、田植えも最盛期で、農家の庭先には端午の節句の旗が、はためいていました。

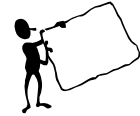
まず旧里見小学校へ行きました。“農業、健康、スポーツ、本当の意味での学校へ”をテーマに廃校舎を利用したアートが行われていました。中でも校長室を丸ごと冷凍したアートの入り口には長い行列が出来ていました。校長室は-25度をキープされていました。バスに乗り市原市民の森でお昼タイムです。緑の中では、“豊かな自然と食”がテーマです。評判の“わっぱ弁当”は市原の里山の恵みが盛り込まれ美味しかったです。ウグイス

の声に送られながらバスで白鳥小学校へ。このほかに2013年春には内田小学校、月出小学校が廃校したそうです。校舎には子ども達の息吹が未だ残っているようでした。この廃校の活用もプロジェクトのひとつです。

旧白鳥小学校は小高い丘の上に立ち、小湊鉄道の簡易な待合所だけの無人駅の上総大久保駅が近くにあり、春には桜の花に包まれるそうです。“いちはら人生劇場”をテーマに校舎内に地域を感じさせる作品群がありました。さらに今回の最終地、養老溪谷“アートハウスあそうばらの谷”へバスで向かいました。築100年以上の古民家を改装したギャラリーで、この家で起きていただろう日常生活の記憶を表現したものです。



県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 21 —  
おききました！ この人・この団体  
アースデイちば



アースデイちば実行委員会代表 東 光弘

## 『アースデイちば』第13回も無事終了！必ず30回以上続けます！

5/18（日）稲毛海浜公園。13回目の『アースデイちば』は好天にめぐまれ、多くのご参加とご来場に支えられて無事に終了しました。やさしく穏やかな一日を過ごすことができホッとしています。新しい力とこれまで培われてきたご縁が結実して、野に咲く一片の花のように、押し付けがましくないけれど、とても心地よい場が生まれ、ありがたく思います。花が実となってまた新しい種になることをイメージして振り返りと準備を進め、また第30回に向け新しい『場』作りに励みたいと思います。

【アースデイとは・・・】1970年にアメリカでスタートし、毎年4月22日を中心に世界80カ国以上で開催されています。アースデイは、民族・国籍・信条・政党・宗派を超えて、誰もが自由とその人の方法で、地球環境を守る意思表示をする国際連帯行動です。日本では1990年に夢の島で始めて開催され、現在では東京のアースデイには関連企画も含め10万人以上が集まる大きな環境のお祭りとなっています。アースデイちばもスタッフ4名の小さな集まりから始まり、今では7～8千人の皆様にご来場いただけるお祭りに成長してきました。現在では私が把握しているだけでも、日本各地で大小おろまぜ20以上のアースデイが開催されるようになり、全国各地のアースデイの間では緩やかなつながりも生まれ始めています。

【少しずつ、小さなことから良い！】アースデイちばは、第1回開催時から「何があっても30回以上開催する！」ことを宣言してきました。環境問題は一人ではできませんが、一人ひとりが繋がり成長していくのにはとても時間がかかると思いましたが、少し遠い先に目印を置いておくことで、細かな主張の違いによって起きがちなすれ違いをできるだけ避けたいと考えたのです。クモの

糸をたぐるように、少しでも環境問題に関心があるもの同士が協力を継続できなければ環境に配慮した社会は構築できないと、当時も今も考えています。

【目的】アースデイちばの大きな目的の一つにお祭りを通じての千葉県内のネットワーク作りがあります。年々、食に関心のある人がエネルギーにも関心を持ったり、アーティストも食・農・自然エネに関心をもっていくなど、いい意味で融合が進んでいます。また県内各地で環境をテーマにしたお祭りがどんどん増えていますので、今後それらのお祭りとも連携を図っていきたくと考えています。これまで食の流通に関わってきた経験からも、環境意識の高まりがある一定の密度を超えたときに飛躍的に伝わる力『社会的影響力』が上がると思っていますので、あせらず一つ一つのつながりを育てていきたくと考えています。

【魅力・これから】会場内の電気は全て太陽光発電により賄い、本部レストランではワーカーズコレクティブ『風車』さんのリユース食器を使うなど、楽しいながらもエコを主役としたお祭りに仕上げております。なんととっても魅力は会場が全面芝生で季節的にも晴れるとはだしが最高です。音楽も売りの一つですが、和太鼓・アフリカン太鼓・津軽三味線・フラなど素晴らしいアーティスト達がみな無償で演奏をしてくれています。様々な方法で環境問題に参加するのは『楽しい！』ことだということを伝えていけたらと思っています。いつか街中にアースデイちばの雰囲気があることを願い、来年は5月中旬に今年同様『稲毛海浜公園』にて開催予定です。皆様のご参加・ご来場をこころよりお待ちしております。

<http://earthdaychiba2002.jimdo.com/>



# 運営委員会報告

## 4月運営委員会

日時 4月10日(木) 19:30~21:00  
 場所 船橋市民活動センター

### 【報告】

- ・だより96号印刷・発送
- ・25年度会計監査 4/10
- ・エコメッセ実行委員会総会 4/8

### 【協議】

- ・だより97号構成
- ・総会準備 開催日:4/20 会場:きぼーる
- ・その他  
 エコフェアいちはら出展 6/7  
 6月エコサロンの検討

## 5月運営委員会

日時 5月9日(金) 18:00~20:55  
 場所 船橋市民活動センター

### 【報告】

- ・総会報告 25名出席 議案はすべて承認
- ・エコサロン報告 24名参加

### 【協議】

- ・だより97号 ・HP・環パ通信
- ・公募事業 千葉県環境講座について
- ・環境学習プロジェクトチームの活動
  - ・エコフェアいちはら 6/7
  - ・ふなばし環境フェア 6/7
- ・印旛沼をきれいにする活動
- ・6月エコサロン 6月初旬予定
- ・エコメッセちばプロジェクト
- ・里山シンポジウム 開催日:5/18

## お知らせ

### 第62回環境パートナーシップエコサロン開催

日時:7月10日 18:00~19:30  
 会場:きぼーる 会議室3  
 話題:千葉県環境政策課温暖化対策室の取り組み  
 話題提供者:千葉県環境政策課  
 参加費:500円(資料代)  
 主催:環境パートナーシップちば  
 申込・問合せ先:090-8116-4633  
 (環パちば携帯)  
 e-mail: [info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com)  
 FAX:043-246-6969 千葉県環境財団気付

### ~6月は環境月間~

#### ☆エコフェアいちはら

日時:6月7日(土) 10時~15時  
 会場:市原市役所駐車場 市民広場  
 消防局講堂  
 テーマ:豊かな里山 生命もにぎやか  
 主催:エコフェアいちはら実行委員会

#### ☆ふなばし環境フェア

日時:6月7日(土) 10時~16時  
 会場:中央公民館(船橋市本町2-2-5)  
 テーマ:見て、さわって、作って考えよ  
 う環境のことを!  
 主催:船橋市環境フェア実行委員会

環パ通信【メルマガ】ご希望の方はアドレスを [info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com) にお知らせください。  
 非会員でも配信させていただきます。(広報部)

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政及び専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

入会申込先:(一財)千葉県環境財団  
 業務部環境活動支援課 気付  
 TEL:043-246-2180 FAX 043-246-6969  
 Eメール: [info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com)  
 会費納入先:環境パートナーシップちば  
 郵便振替口座 00160-9-401872

## <環境パートナーシップちば>

### 入会申込書

会の趣旨に賛同し(個人、団体、賛助会員として)  
 会費を添えて(郵便振替)入会します

氏名		入会年月日	
住所	〒		
Eメール			
TEL		FAX	
年会費	個人1,000円 団体2,000円 賛助会員5,000円		